京都工芸繊維大学における地域連携の取組について



京都工芸繊維大学　松ヶ崎キャンパス

京都工芸繊維大学の地域連携方針

本学では、地域社会・産業界の要請に対応した研究活動の展開に加えて、自治体の政策課題として重点的に取り組まれている分野で、研究成果の地域還元を促進します。

京都府等に集積するものづくり企業・観光産業および自治体等が有する技術・経営・政策課題について、大学が有する研究資源（シーズ）を活用した課題解決・イノベーションが図られるよう取組を展開します。

PICK UP

大学の研究者



■　主な研究内容

社会知能情報学
時空間データベースシステム
観光情報学
投資情報学

情報工学・人間科学系
馬　強　教授

※研究者の経歴等は
（URL：
https://www.liaison.kit.ac. p/researchers db/introduction/info hum sci/%E9%A6%AC%E3%80%80%E5%BC%B7）をご参照下さい。

デジタル技術の活用
（AI、データ利活用）

地域課題解決に向けた活用例

■　活用分野

観光　交通、都市整備、
フロントヤードDX

■　活用例

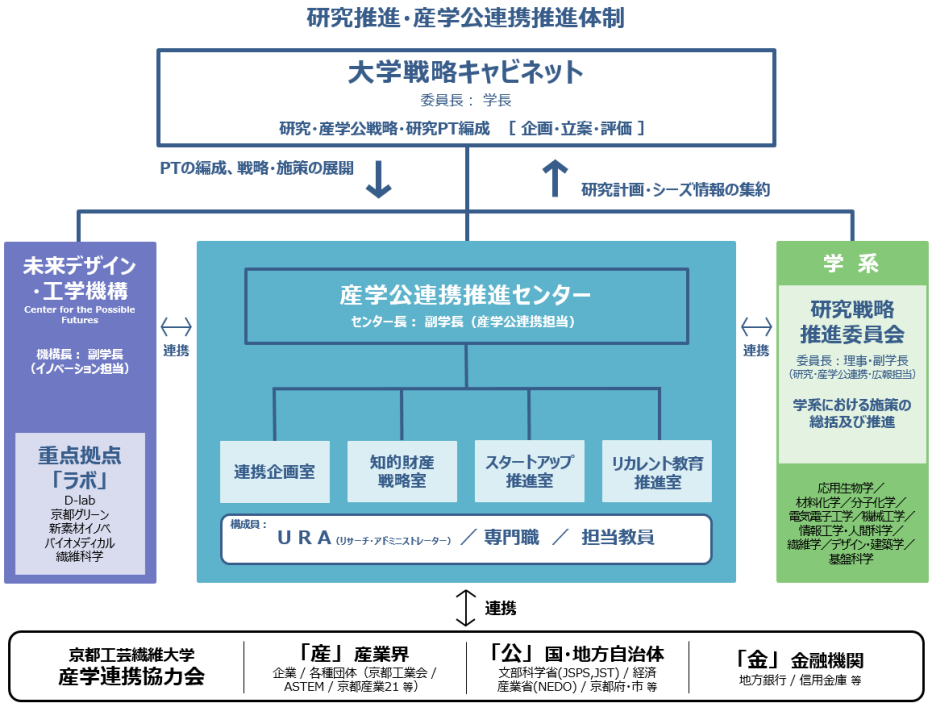
持続可能な観光の実現に向けた地域観光情報システムの構築

- 観光の個人化や分散化により広域での観光客の誘引を実現
- 地方への観光客の継続的流入
- 有名観光都市・地域の負担軽減

地域との連携形態について

地域との連携形態

「京都地域を牽引し、産業のるつぼ〈京都バレー〉を構築し、また社会の発展を牽引すべく知的貢献を為す」という理念に基づき、本学では「産学公連携推進センター」を中心として、企業ニーズと大学シーズのマッチングによる共同研究や受託研究、研究者交流や地域社会との連携事業を通して、積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。



	概　　要	特許等を受ける権 利 の 帰 属
学術指導制度	・企業等外部からの依頼を受けて本学の研究者が専門的知識に基づき指導助言を行うもの	発明等の知的財産が生じた場合、その取扱いについて協議する
共同研究制度	・企業等外部の機関から研究者及び研究経費等を受け入れて、当該外部機関の研究者と共通の課題について対等の立場で共同して行う研究 ・共通の課題について分担して行う研究、又は本学において行う研究で、外部機関から研究者及び研究経費等、又は研究経費等を受け入れるもの	通常の場合、大学（又は発明教員等個人）と外部機関との共有となる
受託研究制度	・本学において企業等外部の機関からの委託を受けて職務として行う研究でこれに要する経費を委託者が負担するもの ・一定の研究調査等の依頼を受けその財源となる費用を受け入れ、その成果を委託者に報告する義務を負う	通常の場合、大学（又は発明教員等個人）に帰属することとなる。委託者が国以外の場合には特許権の一部を委託者に譲与できる
受託研究員制度	・企業等外部の機関から技術者又は研究者を受け入れて、本学教員の指導のもと、大学院程度の研究を行うもの	通常の場合、大学（又は発明教員等個人）と受託研究員との共有となる
奨学寄附金制度	・本学において、学術研究に要する経費等、教育研究の奨励を目的とする経費に充てるべきものとして、企業等外部の機関から受け入れる寄附金及び有価証券で、寄附者に反対給付を与える義務を負わない一方的なもの	大学（又は発明教員等個人）に帰属することとなる

参考URL：https://www.liaison.kit.ac.jp/index.php

地域との連携実績について

地域との連携実績

本学はこれまで自治体、地元企業、経済団体等と連携・協力して教育研究を行ってきました。
包括・連携協定等により地域との連携を強化し、産業振興、文化振興、まちづくりなどを通じて地域社会の発展や地域課題の解決、産業の創出など地域を志向した教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。

連絡先
京都工芸繊維大学
産学公連携推進センター 連携企画室
（研究推進・産学連携課　産学・地域連携係）
TEL：075-724-7035
Mail：corc@kit.ac.jp